

令和2年10月10日

ぎんたらすだより

社会福祉法人 久慈市社会福祉事業団
特別養護老人ホーム ぎんたらす久慈

〒028-0014 久慈市旭町7-105-10

電話 0194-61-3313



9月16日（水）ぎんたらす久慈ホールにて、敬老会が行われました。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、余興の少ない年となりましたが、その分職員が一生懸命練習し、大黒舞を披露し、皆さまに楽しんでいただけた会になりました。

今後とも笑顔の絶えない生活を送っていただき、益々のご長寿を目指して、健康で過ごされますよう、心より願っております。皆さまお化粧や普段とは少し違う綺麗な衣装をお召しになって、とても素敵でした。

※「ぎんたらす」とは久慈市と姉妹都市であるトアニア（クライペダ市）の言葉で琥珀（こはく）という意味です。

夏祭り

7月29日にぎんたらすの夏祭りが行われました。今年は、コロナのため内容を縮小して開催になりましたが、盆踊りやスイカ割りなどあり、とても盛り上がりました。

盆踊り



スイカ割り

施設長頑張ります!



頑張つて～



もっと右でないのすがあ



アイス美味しいね～

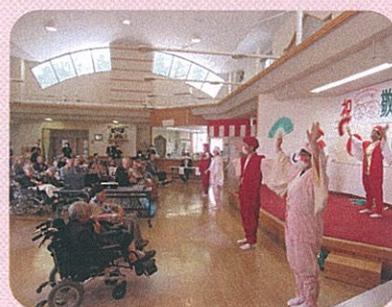
早く割って皆で食べたいな



令和2年度 敬老会

今年度はコロナウィルスの影響にて、ご家族様のご参加が出来ない中ではありましたが、皆様無事に敬老の日を迎える事が出来ました！利用者様にとってもご家族のいない少し寂しい会とはなりましたが、その分職員一同、一生懸命用意した素敵な会になったと思います。今年のお祝い対象者様は11名で、最高齢者様は101歳でした。来年度はご家族様に囲まれての会になる様、願っています。

皆様、敬老の日、本当におめでとうございます！！





お楽しみクラブ

週に一回おやつの日とは別に月一回のお楽しみクラブがあります。その月により参加される利用者様も変わり少人数で和気あいあいと手作りおやつを頂いています。さて、今回のおやつは何だったのでしょうか？



令和元年度に受けた苦情・要望等について

令和元年度に受けた苦情・要望等について、お知らせします。

1. ショート利用中に体調を崩したのであれば、状況を分かっている施設職員が通院の段取りをして頂きたい。なぜ、看護師が家族に対して直接説明や通院の際に同席しないのか。

対応⇒利用者様の状態報告などは生活相談員・ケアマネジャーが相談窓口となりご家族へ報告しております。また通院につきましては、ショートステイのご利用者様は在宅生活が軸となっている観点から、医師とのコミュニケーションが施設側より密に図られていると考え、ご家族より直接受診の段取りをとっていただくようお願いしております。ただし今回は状況の説明不足もあり、ご家族との共有が不足していたことを施設内部で協議し、今後、ショートステイご利用者様におかれましても、ご家族・病院が詳細説明を希望される場合は、都度柔軟に看護師からの説明の場をもうけさせていただくように改善しております。

2. 利用者の食事介助をする場合は、食材を混ぜることなく介助してほしい。以前も混ぜて食べさせていた。

対応⇒職員に対し、介助の基本に基づいた介助を実施するよう改めて周知を図りました。

一方、ご利用者様ご本人の生活習慣等に基づいて希望される場合や、ミキサー食など提供する食事形態によっては、少しおかゆとおかずが混ぜられた形の方が食が進む方も中にはいらっしゃいます。

今回のご指摘をきっかけに、食事形態の個別ケアの状況（各利用者様の現在の食事形態やどのような食事介助をしているか）について、広報を通じご家族へお知らせを実施いたしました。

3. 通院時に水分が十分に摂取されていないと医師から指摘されたため、水分補給をしっかりと行ってほしい。

対応⇒事前にご利用者様本人の現在の状態（特に食事・水分の摂取状況）について伝えきれていなかったことが原因と考えております。

ご利用者様の状態によっては、身体状態の低下に伴い、これまでのように水分を十分摂ることが困難になることもあります。その場合、施設内でも様々な食事形態への工夫に取り組みますが、それでもかなわない場合は受診という形で今後の支援方針を相談させていただく場合もございます。今回のお申し出につきましては、会議等の場において、これまでと状況が異なる方の情報について、生活相談員やケアマネジャーと情報を共有し、ご家族への説明対応により繋げていくことを全体で確認しております。

敬老の日、おめでとうございます！

～通信欄～

様 ご家族様



番地 担当：

編集後記

今年は9月に入ってもしばらく暑い日が続きましたが、最近は朝晩肌寒く、ようやく秋の訪れを感じる今日この頃です。

今年は、コロナ禍という思わぬ厄災に見舞われ、ご利用者様・ご家族様にも会場の制限や行事の中止・縮小化などで大変なご心配とご不便をおかけしていることと存じます。

今回のぎんたらすだよりでは、そんなご家族の皆さまの心配を少しでも和らげることができたらと思い、ご利用者さまの写真をたくさん掲載させていただきました。これまでと大きく変化のある日々に戸惑いや葛藤を抱える毎日ではありますが、日常に戻る希望を持って、ご利用者様の素敵な笑顔をご覧になっていただくと幸いです。

先の見通しがつきづらい状況が続きますが、皆さま、くれぐれもご自愛くださいませ。